

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

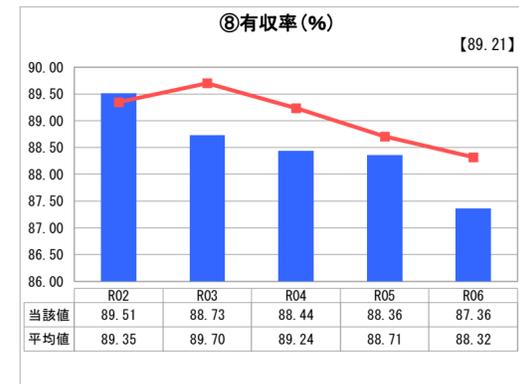
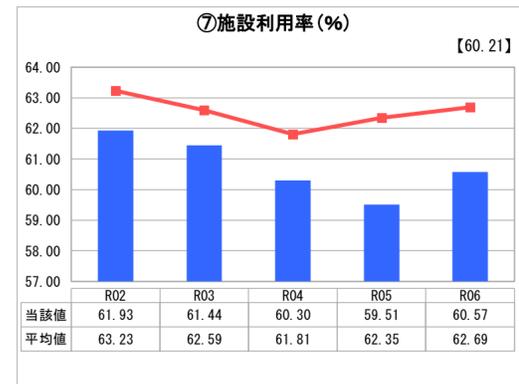
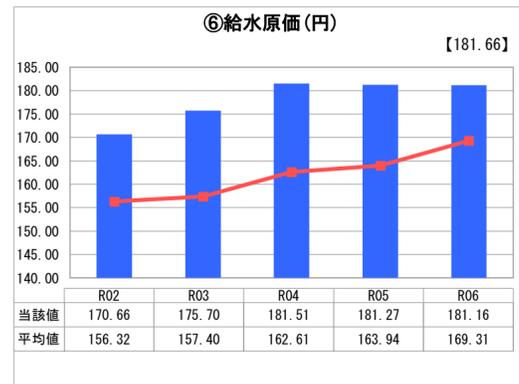
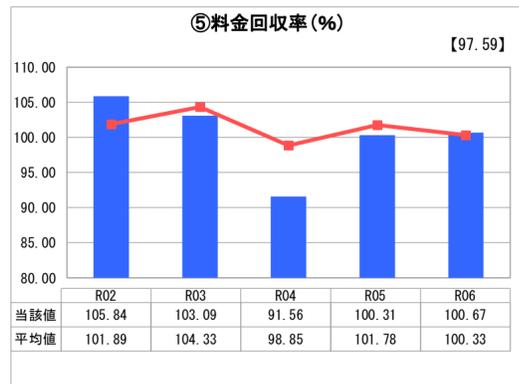
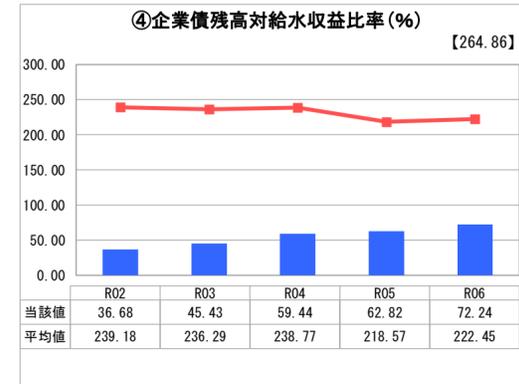
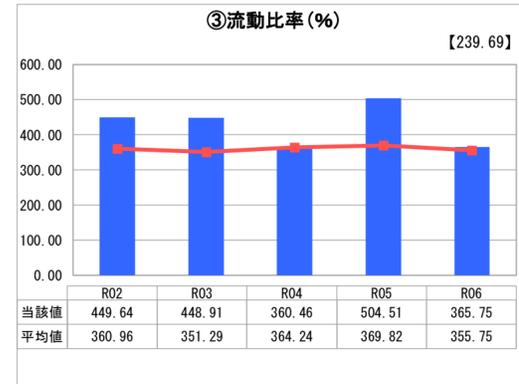
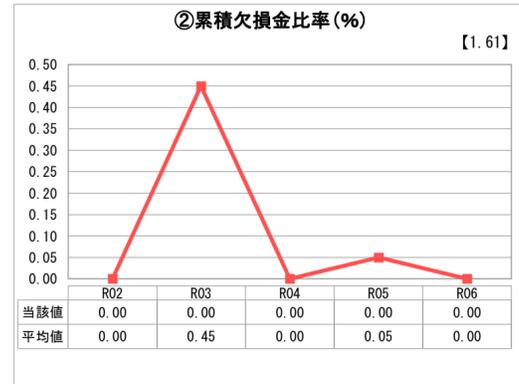
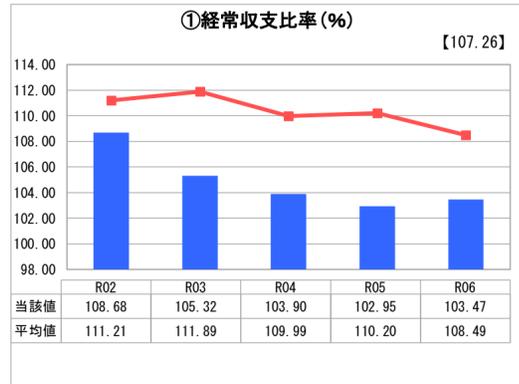
岐阜県 多治見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	87.42	99.94	3,168	

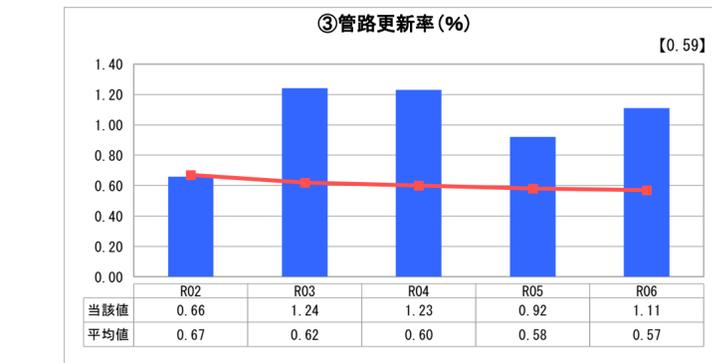
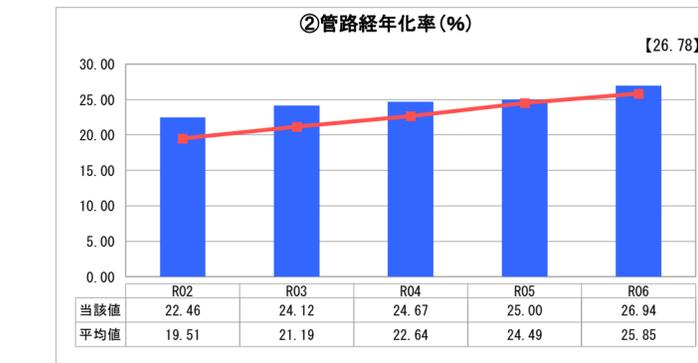
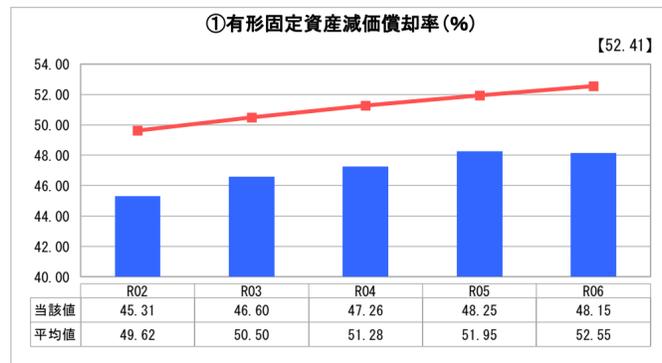
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
105,048	91.25	1,151.21
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
104,316	86.40	1,207.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
前年度よりわずかに上昇し、100%を超えているため、おおむね良好な状況であるといえます。
- ②流動比率  
前年度より低下しているものの、300%を超え高い数値を維持しており、短期的な資金繰りの安定性は高いといえます。
- ③企業債残高対給水収益比率  
老朽管布設に伴う企業債残高の増加により緩やかに上昇していますが、類似団体平均値を下回っています。
- ④料金回収率  
100%を超えているものの、低下傾向がみられるため、対策が必要です。
- ⑤給水原価  
類似団体平均値より高くなっています。これは当市が県営水道から受水していることが原因といえます。また、令和3年度以降高止まりしているため費用の削減に努める必要があります。
- ⑥施設利用率  
前年度より上昇しましたが、類似団体平均値を下回っており、引き続き適切な運用を行っていく必要があります。
- ⑦有収率  
年々低下しており、老朽管布設による有収率の向上が必要です。また、計画的な漏水調査・漏水修繕を実施し、有収率の向上に努める必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率・②管路経年化率  
高度経済成長時代に埋設の管路が多くあり、管路等の老朽化は進行しています。
- ③管路更新率  
前年度より上昇し、類似団体平均値を上回っています。  
災害に備え、配水池から重要給水施設（基幹病院・避難所）に供給する管路の耐震化、老朽化した配水管・施設の更新が必要です。限られた予算の中で補助金等を積極的に活用しながら、計画的に更新していくことが重要になります。

### 全体総括

当市水道事業の令和6年度時点の経営状況は、各指標の示すとおり、比較的良好な状況を保っています。しかし、管路等の老朽化は年々進行しており、有収率も低下しています。今後は、老朽化した管路の更新や大規模災害に備えた耐震化対策等によるコストが増加する一方、近年の急速な人口減少等に伴い料金収入や内部留保資金は減少していきます。安定的に水道事業を継続していくためには、補助金の積極的な活用、計画的な企業債の借入、効率的な経営実施によるコスト削減に取り組みつつ、適正な水道料金の設定を含め、さまざまな対応を検討していく必要があります。今後も効率的な事業運営に努め、経営の健全性を確保するとともに、住民の皆様安心して安定的に水道を使っていたただけるよう努力してまいります。